

内装システムの 開発・検討

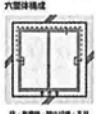
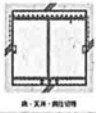
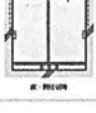
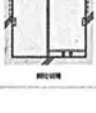
画一的な住宅供給から入居者の多様なニーズに対応するため、様々な工夫が行われている。住宅内部の多様化や可変性、これに伴うプランニング、新たな入居者サイドに立った住宅供給方式、又社会ニーズに対応する耐久性の高い住宅供給、さらに高齢化や環境への配慮等、入居者や住宅供給側の課題が云われて久しい。しかしながら、実際に生産する側ではこのような課題に対応しつつ、一方では深刻化する熟練工不足対策、施工の省力化、コストの低減化等、いわゆる建築生産の合理化やシステム化が強く求められている。

当社は、内装システムのあり方を、ソフト、ハードにわたり長年、日本住宅パネル工業協同組合より委託を受け、調査研究を行っている。

その主なものは、

- ・ 新内装工法の開発 (1982)
- ・ 住宅供給方式と対応する内装システム (1984)
- ・ 需要者対応の住宅供給システム (1985)
- ・ 内装システム工法と在来工法の比較検討 (1991)
- ・ 内装システム解説概要書 (1996)

■内装システムのプロトタイプ

	内装システム工法	在来工法	AWM工法	躯体の耐久性 施工性 メンテナンス	室内空間の 快適性	内装部品の 交換 互換 可変性	設備系統の メンテナンス	高齢化 対応
 六面保護型 <small>図：新築時、竣工後、天吊</small>	六面の各性能を満たした内装トータルシステム 図 <small>図：新築時、竣工後、天吊</small>	○	○	○	○	○	○	
 <small>図：天吊、竣工後</small>	壁への一部設置確認はあるが、天井先行システムの導入によって可変性は期待可能 図 <small>図：天吊、竣工後、天吊</small>	△	△	○	△	○		
 <small>図：天吊</small>	天井・壁の設置確認 図 <small>図：天吊、竣工後、天吊</small>	×	×	△	△	○		
 <small>図：天吊</small>	天井・壁の設置確認及び給排水、ガス系統等の設備により一部必要 図 <small>図：天吊、竣工後、天吊</small>	×	×	△	×	×		

■内装システムの課題

